

# 重点プロジェクトの実績

実施区分	「目標の設定」、「取り組み内容の決定」、「取り組み」の進捗状況と成果、課題（H29～R2 前期）	新型コロナウイルスの影響	地区活動の支援把握		
			社協	市	
地区社協、区会（自治会）、各種団体等	東金第一	「目標の設定」は未実施。地区内での情報共有が課題となっており、日吉台3区と上宿区、谷区の合同で集まり話し合う機会がなかなか作れず、進捗がなかった。 R2 年度は新型コロナウイルスの影響で会議を控えているが、状況を見ながら話し合い集まる機会を作って行きたい。また、高齢者支援サービス協議会を結成し目標の設定等を進めて行く予定。 重点プロジェクトのテーマに対しては、地域パトロール、小学校の草刈り支援活動、ふれあい広場で世代間交流、美化活動を通して地域活動の活性化を継続して実施している。	あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地区社協会長へ地区別の取り組み推進について説明、啓発。CSW 育成研修実施（H29 年度）</li> <li>■H29.11.30 生活支援コーディネーターと共に総会に参加。説明、啓発を行なう。</li> <li>■地区社協合同会議にて説明と進捗状況の確認（H30 年度、R 元年度、R2 年度）</li> </ul>	
	東金第二	「目標の設定」は未実施。地区社協に関わる人が限定されており少数。各種団体とのつながりが希薄であることが推進の課題となっている。 R2 年度より地区社協組織の立て直し、関係団体との連携、関係者が顔を合わせて話し合う場づくりを段階的に進めていく予定。また、子ども会、青年会、防犯パトロール隊との交流を予定している。 重点プロジェクトのテーマに対しては、幼稚園児と長寿者の「ふれあい交流会」で世代間交流を開催し、世代・地域を越えた交流機会づくりは継続して実施している。	あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地区社協会長へ地区別の取り組み推進について説明、啓発。CSW 育成研修実施（H29 年度）</li> <li>■地区社協合同会議にて説明と進捗状況の確認（H30 年度、R 元年度、R2 年度）</li> </ul>	
	田間	「地域密着粉骨砕身＝田間」をスローガンに、「感染症予防対策の啓発・見守り」に取り組むことを決定。 高齢者を対象に地区社協・民生児童委員・ボランティア・長寿会が協力して、見守りや安否確認を兼ねて感染予防に必要な物品を提供することを決める。 R2 年 12 月中旬に「高齢者寄り添い事業」として、地区社協・民生児童委員・長寿会が協力し、ひとり暮らし高齢者及び長寿会員（計 324 名）へマスクを配布しながら見守りや安否確認を実施。 R 元年までは話し合いの機会がなく、R2 年に設定。新型コロナウイルスの影響がある中で、まずは、今できることを話し合い、設定、取組を行った。 重点プロジェクトのテーマに対しては、文化展等で新旧住民の交流の場を増やし地域人材の発掘・育成につなげる。行事の広報活動を徹底、地域的なサロンの開催、保育所や小学校での世代間交流、福祉教育への協力、リレーマラソン等を実施し、世代・地域を超えた交流機会の拡充へ取り組むことを、継続して実施している。	あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地区社協会長へ地区別の取り組み推進について説明、啓発。CSW 育成研修実施（H29 年度）</li> <li>■地区社協合同会議にて説明と進捗状況の確認（H30 年度、R 元年度、R2 年度）</li> </ul>	
	嶺南	「人生 100 年時代・健康長寿を目指そう」をテーマに、地区（社協、区長、民生、食改、子ども会等）や各区で取り組みを行うことを決定。 H29 年度は、地区社協や各区内で協議。 H30 年度より「千葉県地域ぐるみ福祉振興基金（地域福祉フォーラム設置支援事業）」を利用しながら、具体的な事業や取り組みを皆で協議し、地区毎のラジオ体操や、健康講座等の取り組みを開始。 R 元年には上記に加えて東金アリーナを会場に健康フェスタも開催。地域住民や福祉施設利用者、老若男女計 177 名の参加があり、健康づくりと住民同士の交流につながっている。 R2 年度は継続実施予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、人が多く集まる事業は見合わせている。	あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地区社協会長へ地区別の取り組み推進について説明、啓発。CSW 育成研修実施（H29 年度）</li> <li>■地区社協合同会議にて説明と進捗状況の確認（H30 年度、R 元年度、R2 年度）</li> <li>■「千葉県地域ぐるみ福祉振興基金（地域福祉フォーラム設置支援事業）」申請支援・連絡調整、健康講座の講師紹介・連絡調整、他市の取り組み等の情報提供（H30 年～）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域福祉フォーラム申請時意見書作成（社会福祉課）</li> <li>◆健康講座講師（健康増進課）</li> </ul>
	城西	H31 年度「ふれあいの輪を広げ、ささえ合う城西地域をつくろう」「地域のきずなを深め子どもたちと交流をもとう」「人と人とがふれあい互いを思いやる心を重視した街づくりの情報発信」をテーマに設定。「安否確認、交流会、体操教室、地区内の施設と交流」、「小学校、保育所、幼稚園との世代間交流」「広報誌の発行」に取り組んでいる。 R 元年度も取り組みを継続。 R2 年度は新型コロナウイルスの影響により、一部の交流事業は中止しているが、会場に新しい生活様式啓発の掲示を行い体操教室等は取り組みを再開している。また、自助、共助、公助の中で自助が難しい場合、どのように共助をするか検討を始めた。	あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地区社協会長へ地区別の取り組み推進について説明、啓発。CSW 育成研修実施（H29 年度）</li> <li>■地区社協合同会議にて説明と進捗状況の確認（H30 年度、R 元年度、R2 年度）</li> </ul>	

# 重点プロジェクトの実績

公平	<p>「高齢者の見守り活動」に取り組むことを決定し、具体的な内容を協議中。対象者の把握（個人情報）や見守り協力者の選定等が課題となっている。</p> <p>H29 年度、H30 年度は、地区社協が中心となり（区長、民生委員、主任児童委員、ボランティア等も含む）地域福祉座談会や会議を開催し協議を進めている。求名駅前区は、既に見守り活動を開始している。</p> <p>R 元年度は各区長寿会を加え、対象を 70 歳以上のひとり暮らし高齢者、80 歳以上の高齢者世帯を対象にする中で、個人情報保護法との関連において、見守り対象者の絞り込みが課題となった。</p> <p>R2 年度は見守り対象者の絞り込みを行っている。近隣の中で、日常からさりげない見守りを実施していく予定。</p>	あり	<p>■地区社協会長へ地区別の取り組み推進について説明、啓発。CSW 育成研修実施（H29 年度）</p> <p>■地区社協合同会議にて説明と進捗状況の確認（H30 年度、R 元年度、R2 年度）</p> <p>■座談会出席（計画説明や情報提供）、個人情報の提供について市と協議、他市の取組み等の情報提供。</p>	<p>◆個人情報の提供について検討、高齢者人口情報提供（社会福祉課、高齢者支援課）</p> <p>◆地域福祉座談会出席（高齢者支援課）</p>
丘山	<p>「活動を通じて、各団体の交流」「丘山振興会活動への協力」を目標に具体的な取り組みを検討予定。</p> <p>丘山地区は振興会が地域活動の主体で、地区社協もこの中に属しているため、長寿会や子ども会の支援、高齢者交流へ取り組み。地区内が広範囲に及ぶため単独での新たな取り組みや事業は困難な状況であった。</p> <p>地区内で各団体がより交流・意見を交わせる機会づくりが課題となっており、R2 年度に振興会も地域振興協議会へと変わることから、これに併せて具体的な取り組みや方法を再度協議して行く予定。</p> <p>重点プロジェクトのテーマに対しては、区単位で実施するサロン活動や見守り・清掃活動、小学校授業への協力（昔遊び）等、世代・地域を越えた交流機会の拡充への取り組みは継続して実施している。</p>	あり	<p>■地区社協会長へ地区別の取り組み推進について説明、啓発。CSW 育成研修実施（H29 年度）</p> <p>■地区社協合同会議にて説明と進捗状況の確認（H30 年度、R 元年度、R2 年度）</p>	
大和	<p>「ふれあいささえあいの大和」をスローガンに①「安心安全事業」要援護者名簿の作成と活用、②「世代間交流事業」あいさつの啓発活動、③「福祉ネットワークの構築」大和地域福祉ネットワーク会議の設立に取り組むことを決定。</p> <p>H29 年度は広報紙で活動計画概要や取り組みを検討することを周知・啓発。</p> <p>H30 年度は福祉団体交流会（公民館、区長、民生委員、主任児童委員、ボランティア、体協、母子保健、長寿会、子供会、食改、婦人会他）を 3 回開催し協議、広報紙でも状況の報告や意見の募集を行ない、年度末総会で地域目標を策定。</p> <p>R 元年度は要援護者リストは各区で作成、挨拶運動継続（次世代育成）、ゴミ出し等の高齢者支援事業も検討を開始。</p> <p>R2 年度は要援護者名簿の作成と活用、挨拶運動継続実施（各区、諸団体へ周知）。</p>	あり	<p>■地区社協会長へ地区別の取り組み推進について説明、啓発。CSW 育成研修実施（H29 年度）</p> <p>■地区社協合同会議にて説明と進捗状況の確認（H30 年度、R 元年度、R2 年度）</p>	
豊成	<p>「目標の設定」は未実施。通年事業多忙と各種団体・組織との繋がりが希薄である為、話し合いの機会が作れておらず、課題となっている。</p> <p>H30 年度は地区社協移動研修会にて、地区別の推進についての研修を実施。</p> <p>R 元年度、方向性を検討予定であったが、地区社協の通年事業多忙により進捗が見られなかった。</p> <p>R2 年 6 月地区社協会長・民生児童委員会長へ、9 月福祉委員研修会にて活動計画への取り組みを啓発。</p> <p>今後は、地区社協が地域振興協議会とよく協議しながら取り組みについて進めて行く予定。一部の団体ではロコモ体操への取り組みを開始。</p> <p>重点プロジェクトのテーマに対しては、定期的な研修会による地域人材の発掘・育成、保育園との世代間交流や小学校への授業協力（福祉教育・昔遊び）を通して、世代・地域を越えた交流機会の拡充を、継続して実施している。</p>	あり	<p>■地区社協会長へ地区別の取り組み推進について説明、啓発。CSW 育成研修実施（H29 年度）</p> <p>■地区社協合同会議にて説明と進捗状況の確認（H30 年度、R 元年度、R2 年度）</p> <p>■福祉委員研修会・地区社協移動研修会にて説明・啓発（H30 年度、R 元年度、R2 年度）</p>	
正気	<p>「みんなで支え合い、思いやりを育む正気に」をスローガンに、あいさつ・声かけ運動普及、新たな交流イベントの開催に向けて内容を協議・決定、介護予防・生活支援サービスとの連携に取り組んでいる。</p> <p>H29 年度は地域福祉活動計画準備委員会（公民館長、区長会長、福祉施設長、食改、民生委員、主任児童委員、地区社協役員等）年 2 回開催。</p> <p>H30 年度は地域福祉活動計画委員会として各区区長や長寿会、子ども育成会、施設職員を加え年 4 回開催。対象を高齢者と定め、ニーズ調査や住民自身ができる支援の話し合い、振り返りを行なった。地区内の福祉施設職員も参加し地域の課題を情報共有している。</p> <p>R 元年度は地域福祉活動計画委員会を年 3 回開催。3 月の新たな交流イベントの開催に向けた協議、準備を行ったが、新型コロナウイルスの影響により中止。</p> <p>介護予防・生活支援サービスとの連携においては、地区内で 9 月に委員会が発足し 12 月に第 2 層協議体として位置づけられ、高齢者の買い物支援の試行（社会福祉法人、長寿会）やニーズ調査（民生児童委員）等が開始している。</p> <p>R2 年度は地域福祉活動計画委員会を年 4 回開催予定し協議を継続しているが、5 月、8 月は新型コロナウイルスの影響により中止している。</p>	あり	<p>■地区社協会長へ地区別の取り組み推進について説明、啓発。CSW 育成研修実施（H29 年度）</p> <p>■地区社協合同会議にて説明と進捗状況の確認（H30 年度、R 元年度、R2 年度）</p> <p>■準備委員会出席、ニーズ把握、調査方法等助言、</p> <p>■他市視察先情報提供・連絡調整、視察研修同行（H30.長柄町日吉・水上地区社協）</p>	<p>◆会議に参加、情報提供、助言（高齢者支援課）</p> <p>※介護予防・生活支援サービスとの連携</p>

## 重点プロジェクトの実績

福 岡	<p>「今日を頑張るすべての高齢者を応援します」をテーマに、民生委員と連携し、ひとり暮らし高齢者のトラブル、子どもの虐待等の実態把握、高齢者の生きがいのサポート、民生委員・主任児童委員との連携を強め、よりきめ細やかな支援に取り組むことを決定。</p> <p>R2年度、新型コロナウイルスの影響により事業縮小しているが、民生児童委員と連携して80歳以上のひとり暮らし高齢者の見守り訪問を実施。</p> <p>H29～R元年度は、後継者不足、地区内の他団体との連携が課題になり、目標設定が進んでいなかった。民生児童委員以外の団体との連携は引き続き課題である。</p> <p>重点プロジェクトのテーマに対しては、広報紙による情報発信により地域人材の発掘・育成、各種交流会実施による世代・地域を越えた交流機会の拡充に、継続して取り組んでいる。</p>	あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地区社協会長へ地区別の取り組み推進について説明、啓発。CSW 育成研修実施（H29年度）</li> <li>■地区社協合同会議にて説明と進捗状況の確認（H30年度、R元年度、R2年度）</li> </ul>	
源	<p>「いきいきみなもと」をスローガンに、いきがいのある外出支援（移動・買い物支援）に取り組むことを決定（福祉施設「福福の里」の公益的な取り組みに対して地区社協が協力）。</p> <p>H30年度、「福福の里」の発案を機に、地区社協、民生委員、ボランティアが参加し話し合いを重ね、対象者や具体的な方法を検討。地区社協役員がニーズ調査を行ない、H31年3月に具体的な内容について数回話し合いを行う。</p> <p>R元年度は4月より月2回実施。対象者の把握が課題としてあがっていたが、主に民生委員の協力により情報提供につながっている。買い物時の保険は地区社協にて加入。</p> <p>R2年度は、新型コロナウイルスの影響により事業継続を休止中。</p>	あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地区社協会長へ地区別の取り組み推進について説明、啓発。CSW 育成研修実施（H29年度）</li> <li>■地区社協合同会議にて説明と進捗状況の確認（H30年度、R元年度、R2年度）</li> <li>■生活支援コーディネーターと共に会議に参加、他市取り組み、保険等の情報提供、助言。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆会議に参加、情報提供、助言（高齢者支援課）</li> </ul>